地域における見守り活動の推進について

令和元年5月8日、滋賀県大津市において交差点で交通事故を起こした車両が信号待ちをしていた保育園児の列に突っ込むという交通事故が発生した。さらに同月28日には、神奈川県川崎市においてスクールバスを待っていた児童等が無差別に殺傷されるといった事件が発生した。

このような子供が巻き込まれる事故・事件に対し、子供の命を守っていくためには、地域全体で子供たちを見守る体制の強化が急務であり、そのためには見守り活動の核となるスクールガード・リーダー(警察官OBや教職員OBといった交通安全・防犯に関する専門的な知識を有する者で地域のボランティアによる見守り活動の指導等を行う者)の増員を図る必要がある。

文部科学省では「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」において、各自治体が地域の見守り活動を 行う際の、

- ○スクールガード・リーダーによる学校の巡回指導等の実施
- ○スクールガード養成講習会の開催
- ○子供たちの見守り活動の実施

といった活動に係る費用について支援を行っている。

令和2年度予算では、本事業に係る予算を大きく増額し、見守り活動の一層の充実を図ることとしている。これにより、スクールガード・リーダーの増員、スクールガード・リーダーの資質を備えた人材に対する育成講習会・スクールガード養成講習会の開催回数の増加等を図っている。また、スクールガード・リーダーに対する活動支援として、防犯装備品(防刃ベスト等)の配備の支援を図っている。

今後、全国的にスクールガード・リーダー及びスクールガードが配置され、子供の見守り体制が各自治体において構築されていくよう、本事業の活用も含めた取組を推進していく。

地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業

令和2年度予算 338百万円 (前年度予算額 119百万円)



学校、通学路の安全確保に向け、昨今の児童生徒の尊い命を奪う交通事故・事件の発生も踏まえ、スクールガード・リーダー増員による見守りの充実や、スクールガード等のボランティアの養成・資質向上を促進することにより、警察や保護者、PTA等との連携の下で見守り体制の一層の強化を図る。

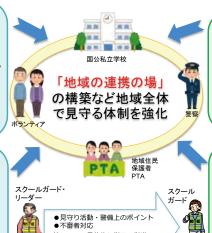
- ■実施主体:都道府県及び市町村
- ■補 助 率:国庫補助率1/3、都道府県、市町村各1/3 ※市町村直接実施の場合2/3負担

スクールガード・リーダー増員 による見守りの強化

- ○スクールガード・リーダー (SGL) の空白 地帯の解消に向け、現行の1,700人体制から 4,000人体制へ増員
- ○スクールガード・リーダーの資質を備えた 人材(警察官B・教職員B・防犯協会役員 等)に対する育成講習会の実施 (年間1地域10回開催)

スクールガード・リーダーに 対する活動支援

- ○スクールガード・リーダーによる指導、見 守り活動に対する謝金、各学校を定期的に 巡回するための旅費等の補助
- ○装備品の充実(防刃ベスト等)
- ○学校等の巡回活動等を円滑にするため、スクールガード・リーダーの連絡会等の開催を支援(全市町村)



等について具体的な指示、指導

スクールガード (ボランティア) の養成・資質向上

○通学路で子供たちを見守るスクールガードの防犯に対する知識、非常時の対応策等を身に付けさせるための養成講習会を実施(年間1地域10回開催)

○最新の安全に関する情報、不審者情報の 共有

スクールガードに対する活動支援

○通学路や学校で子供の見守り活動の強化 を図るため、「登下校防犯プラン」等に基 づく防犯活動への支援(全市町村)

[活動例]

・防犯訓練の実施・通学安全マップの作成・ 登下校時のパトロール・地域の連携の場構築